

しれいかんモロナイと パホーラン

だい35しょう



しれいかんモロナイは、ヒラマンのぐんが、レーマン^{じん}からニ
ーファイ^{じん}人の土地をとりかえしたことをし^して、大い^{おお}による
こびました。(アルマ59：1)



しかし、ヒラマンのぐんは、こま^{おお}ま^{まち}っています。多くの町をまも
るためには、へい^かし^たの数が足りないのです。(アルマ58：32)



しれいかんモロナイは、大^{だい}さばきつかさであり、^{くに}国のそうとくで
あるパホーランに手紙^{てがみ}を書いて、ヒラマンのぐんにもっとへい^かし^しを
おく^おってほしいとたのみ^たました。(アルマ59：3)



レーマン^{じん}人のぐんは、ヒラマンがとりかえした^{まち}町をせめました。
そして、多くのニ^おーファイ^お人をころし、生きのこ^いった人^{ひと}たちを町^{まち}から
お^おい^い出^だしました。(アルマ59：5-8)



へい^かし^しをおく^おらなかつたせい^{せい}ふにはら^たを立てたモロナイは、パホ
ーランにもうい^いちど、手紙^{てがみ}を書^かきました。(アルマ59：13；
60：1)



「えんぐんがおくられなかったおかげで、^{おお}多くのものがつるぎにたおれました。」(アルマ60：5)



「すぐにもへいしとしょくもつをおくってくれないのであれば、わたしはわたしのぐんを出し、^だちから力づくでもたすけをえるとしよう。」(アルマ60：34-35)



すると、すぐにパホーランからへんじが^き来ました。「あなたがたがくろうしていることは、とてもかなしく思っている。」(アルマ61：1-2)



「しかし、わたしが^{だい}大さばきつかさであることをのぞまない^{おう}王せいとうのわるいニーファイ人がいて、わたしやじゆうとうの^{ひと}人びとをゼラヘムラから^{ちから}力づくでおい出してしまったのです。」(アルマ61：3-5)



そして、ゼラヘムラをとりかえすために、ぐんをあつめてい^かも書いてありました。(アルマ61：6-7)



^{おう}王せいとうの^{ひと}人たちは、^{おう}王を立てて、^{じん}レーマン人と手を組んでい^てました。(アルマ61：8)



パホーランは、モロナイの手紙にはらはた立てませんでした。ニーファイ人のじゆうをのぞんだのです。(アルマ61：9)



パホーランはモロナイにたのみました。「少しばかりのへいをつれて来てほしい。とちゅう、さらに多くのへいをあつめて来てくれるなら、ゼラヘムラはとりかえすことができる。」(アルマ61：15-18)



モロナイはよろこびました。パホーランは今までとかわりなく、くににちゅうじつで、たみのじゆうをのぞんでいたからです。(アルマ62：1)



モロナイは少しのへいをつれて、パホーランに会いに行きました。じゆうのはたを立ててすすみました。とちゅう、何千人という人びとがかわりました。(アルマ62：3-5)



モロナイとパホーランのぐんは、ゼラヘムラ目ざしてすすみました。そして、むほんをおこしたニーファイ人たちの王をころし、王のへいをとらえました。(アルマ62：7-8)



モロナイはニーファイ人のぐんに、食べものと12,000人のへいをおくりました。たすけをうけたニーファイ人のぐんは、レーマン人をおいはらいました。こうして、また国はへいわになりました。(アルマ62：12-13, 38-42)